

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	衛生管理		学科名	ヘアビューティ			授業方法	講義
担当教員	出石 文男/難波 弘行		学年・学期	1 年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	・ 公衆衛生・環境衛生、保健の基礎的な学びを通してその意義と目的を理解する。関連して具体的な感染症やその予防法も学ぶ。 理容師・美容師等の日常業務に生かせるようスキルを深める。 ・ 授業は講義形式で行い、国家試験（筆記）の過去問題と関連づけて説明を行う。グループワークと発表会を行う。学期末には前・後期テストを実施する。							
到達目標	・ 健康と衛生との関連性が分かる。 ・ 「公衆衛生」「環境衛生」「保健」「感染症予防」の重要性が理解できる。 ・ 理容師、美容師等が授業を通して社会の責任ある役割を担う業務であることが理解できる。 ・ 国家試験合格を目標とする。							
授業計画・内容								
第 1 週	1-1-1 オリエンテーション 公衆衛生 公衆衛生の意義と課題			第 1 6 週	3-1-1(1) 感染症 人と感染症 感染症の歴史			
第 2 週	1-1-2(1)(2) 公衆衛生 公衆衛生発展の歴史 欧米と日本の歩み			第 1 7 週	3-1-1(2)(3) 感染症 感染症の法律と分類			
第 3 週	1-1-2(3) 公衆衛生 公衆衛生発展の歴史 消毒法の歴史			第 1 8 週	3-1-2(1)(2)感染症 病原微生物 微生物の種類、形と大きさ			
第 4 週	1-1-3(1)(2),1-1-4 公衆衛生 理容師・美容師と公衆衛生			第 1 9 週	3-1-2(3)(4)感染症 微生物の構造、増殖と環境の影響			
第 5 週	1-2-1(1) 保健 保健 母子保健			第 2 0 週	3-1-3(1)(2) 感染症の予防 病原性と感受性 汚染、感染及び発病			
第 6 週	1-2-1(2) 保健 成人・高齢者保健			第 2 1 週	3-1-3(3)(4) 感染症の予防 常在細菌叢 免疫と予防接種			
第 7 週	1-2-1(3) 保健 保健 精神保健			第 2 2 週	3-1-3(5) 感染症の予防 感染症発生の要因			
第 8 週	2-1-1（1）(2)(3) 環境衛生 環境衛生の内容、目的と意義 環境衛生活動			第 2 3 週	3-1-3(6) 感染症の予防 感染症予防の3原則			
第 9 週	2-1-2(1)(2) 環境衛生 空気環境 健康と空気 温度、湿度、気流			第 2 4 週	3-2-1 感染症の各論 理容・美容と感染症			
第 1 0 週	2-1-3(1)(2) 環境衛生 衣服・住居の衛生			第 2 5 週	3-2-2(1) 主な感染症 空気、飛沫を介して感染する感染症			
第 1 1 週	2-1-4(1)(2) 環境衛生 上水道			第 2 6 週	3-2-2(2) 主な感染症 飲食物を介して感染する感染症			
第 1 2 週	2-1-4(1)(2) 環境衛生 下水道			第 2 7 週	3-2-2(3) 主な感染症 血液等を介して感染する感染症			
第 1 3 週	2-1-4(1)(2) 環境衛生 上・下水道と廃棄物			第 2 8 週	3-2-2(4) 主な感染症 動物・節足動物を介して感染するする感染症			
第 1 4 週	2-1-5(1)(2) 環境衛生 衛生害虫とネズミ			第 2 9 週	3-3-1(1)(2) 具体的な対策の例 標準予防策 咳のある客			
第 1 5 週	2-1-6 環境衛生 環境保全 水質汚濁			第 3 0 週	3-3-1(3)(4) 具体的な対策の例 病変の皮膚をもつ客 嘔吐した客			
評価方法	定期試験（前期・後期）を実施し、ノート、小テスト、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 * 定期試験（70％）、ノートの提出と小テスト（20％）、出席（10％）							
教科書 教材など	「衛生管理」 公益社団法人 日本理容美容教育センター発行 プロジェクター(パワーポイント使用)							
実務経験	薬剤師歴42年（倉敷市保健所・病院勤務薬剤師、大学薬学部臨床薬学教授）					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	香粧品化学	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	仁井名 由記	学年・学期	1年・通年	時間数	45 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	・ 香粧品の原料や配合などの成り立ち、性状、使用目的のほか、どのような薬品が香粧品に属するのか、その定義、社会的意義や特性、法的な根拠、製品の安定性について学習していく。 ・ 授業は講義形式で単元ごとに確認テストを行い、理解度を確認しながら進めていく授業である。						
到達目標	美容師として必要な薬品の知識を学ぶことにより、お客様に提供する際の説明ができることや国家試験合格を目標にして、そこにたどり着くための忍耐力を養う。						
授業計画・内容							
第 1 週	1編 1章 香粧品概論 1節 香化粧品の社会的意義と品質特性		第 1 6 週	復習			
第 2 週	2章1節 香粧品を使用する際に気を付けるべきこと		第 1 7 週	復習			
第 3 週	3節 香粧品の安全性と安定性		第 1 8 週	5天然色素			
第 4 週	3章 香粧品の成り立ち 1節 香粧品の成り立ち		第 1 9 週	7節 香料			
第 5 週	2節 水と親水性溶媒		第 2 0 週	8節 その他の配合成分 1香粧品原料の品質保持に用いられる配合成分			
第 6 週	2節 油性原料		第 2 1 週	2香粧品配合成分があたえる機能			
第 7 週	4節 界面活性剤 1界面活性剤の基本的性質		第 2 2 週	9節 その他機能性配合原料			
第 8 週	2界面活性剤の種類		第 2 3 週	10節 雑貨原料			
第 9 週	5節 高分子化合物 1高分子化合物と特性		第 2 4 週	9節 ネイル、まつ毛エクステンション用材料 1合成樹脂			
第 1 0 週	6節 色材		第 2 5 週	2編 香粧品総論 1章 スキンケア製品			
第 1 1 週	有機合成色素		第 2 6 週	2節 クレンジング用香粧品			
第 1 2 週	復習		第 2 7 週	3節 コンディショニング用香粧品概論			
第 1 3 週	復習		第 2 8 週	復習			
第 1 4 週	復習		第 2 9 週	復習			
第 1 5 週	復習		第 3 0 週	復習			
評価方法	定期試験を実施し、毎授業時間後に行う小テスト、課題、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：定期試験（34％） 小テストやレポート（33％） 授業態度や出席（33％）						
教科書 教材など	出版社：日本理容美容教育センター 書名：香化粧品化学 ・講師作成プリント						
実務経験	株式会社 毛髪クリニックリーブ2 1 3年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	美容技術理論	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	岩瀬泰/井上祐樹/松井隆	学年・学期	1年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	・美容技術はそれぞれ技術の裏付けとなる根拠があり、その理論や薬剤の取扱い等の説明をし理解させると同時に、技術の方法や注意点なども合わせ習得をしやすいように理解させる。 ・授業は講義形式でプロジェクターを使用し写真や図、実物などを手に取り、利用しながら授業展開をする。また提出物や小テストにより理解度を確認し、クラス全体の知識を高める。						
到達目標	・1年次は美容実習及び国家試験実技を習得する上で必要とされている理論を教えにすることを一つの目標としている。 また、美容師国家試験筆記課題でもあるため十分な理論の知識を深めことで、美容技術理論の必要性を理解されることを目標にする。						
授業計画・内容							
第1週	序章：技術と理論.（作業姿勢。人体・頭部の名称） ＊なぜ理論が必要であるのか。	第16週	6章 ヘアカーリング2 ピンカール各部の名称・分類 ＊カールの方向や、ベースについて				
第2週	1章 美容用具1（道具、器具、機械の違いについて） ＊美容師の道具・用具を理解させる。	第17週	6章 ヘアカーリング3 ＊ステムの方向、ループ・ピニング等				
第3週	1章 用具2（コーム・ブラシ・シザーズ・レザー等） ＊施術を行う上で必要な各部の名所を覚える。	第18週	6章 ピンカールの作り方・ウェーブ ＊ スカルプ・クロキノールカール・フィンガーウェーブ				
第4週	2章 シャンプーイング1 ＊目的と成分。目的別シャンプー・界面活性剤と、シャンプー剤の種類。	第19週	6章 ローラーカール ＊ローラーカールの効果と、巻き方、角度、				
第5週	2章 シャンプーイング2 ＊シャンプーの注意点と不安やマッサージ効果について	第20週	6章 ブロードライ ハンドドライヤー ＊その使い方と道具について				
第6週	2章 シャンプーイング3 技術プロセス ＊ブラッシングから、バック・サイドシャンプーの違い	第21週	6章 アイロンセット・その他 ＊持ち方、カールの出し方・ウィクトヘアピースについて等				
第7週	2章 リンス・コンディショナー1 ＊役割と成分カチオン界面活性剤とは等	第22週	7章 カラーリング 種類とタイプ ＊染毛剤、染毛料の違いなど				
第8週	2章 リンス・コンディショナー2 ＊リンス・コンディショナー・トリートメントの違い	第23週	7章 カラーリング 染毛のメカニズム ＊酸化染毛剤の作用				
第9週	2章 3 スカルプトリートメン ＊その目的・成分・手順等、ヘッドスパについて	第24週	7章 色の基本 ＊色の原理、レベルとアンダートーン 明度彩度等				
第10週	5章 パーマネントウェーブの歴史と理論 ＊ウェーブ形成の仕組みパーマ剤のはたらき	第25週	7章 パッチテスト 染毛剤と皮膚炎 ＊パッチテストの実際と方法				
第11週	5章 パーマネントウェーブ 薬剤の分類 ＊各パーマ剤のタイプ、2浴式・加温式縮毛矯正等	第26週	7章 カラーリングの実際 ＊ブロッキング、塗布・ブリーチ技術				
第12週	5章 パーマ3 パーマ剤に関する注意事項 ＊ 施術に適さないケースや、トラブル等	第27週	3章 ヘアデザイン 美容とデザイン ＊ヘアデザインにおける錯覚の利用				
第13週	5章 技術の実際 ＊ ロッドの選定法や、テストカール手順など	第28週	3章 錯覚の種類と説明 ＊幾何学錯視・ツェルナー錯視等				
第14週	6章 ヘアセッティング ヘアセットとは ＊基礎的要素、パート・シェーブ・コームの持ち方	第29週	3章 デザインの要素 ＊点と線・面の効果				
第15週	6章 ヘアカーリング ＊ピンカール各部の名称・分類	第30週	3章 デザインの効果 ＊方向・比率・バランス等の応用				
評価方法	・定期試験を実施し、授業内で小テスト・授業時にまとめたノートの提出、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価の目安：定期試験（70％）・小テスト（10％）・提出物（10％）・授業態度と出席（10％）						
教科書 教材など	日本理容美容教育センター出版「美容技術理論1」。 公益法人理容師美容師試験研修センター発行(美容師実技試験課題「実技の解説及び理・美容衛生読本」。 視聴覚教材：プロジェクター（パワーポイント）						
実務経験	岩瀬泰（美容師歴23年）・井上祐樹（美容師歴：6年） 松井隆（美容師歴15年）・高田勝之（美容師歴：4年）				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	美容実習	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	実技
担当教員	岩瀬泰/井上祐樹/高田勝之/松井 隆	学年・学期	1年・通年	時間数	480 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	・美容技術を行う上で必要な基本姿勢や用具類の取り扱いを理解させ、,国家試験課題の技術条件に沿って練習を行う。また、「シャンプー」や「カラーリング」など、実践的な技術も習得する。 ・授業は主に実技演習で、授業により講義で各技術ごとに教科書、パワーポイントを使用して説明をする。実技では、デモンストレーションをすることで実際の動きを理解させる。美容師国家試験課題で課題作成時間が決まっているものは、実技の小テストや定期テストを実施し、目標を達成できるようにさせる。						
到達目標	・国家試験課題である「ワインディング」「オールウェーブセッティング」の技術の条件を理解し、決められた課題作成時間内にできるようにする。また、実技試験における衛生上の取り扱いについても理解することで美容師国家試験（実技）の合格を目指す。 ・サロンワークに必要な基本的なテクニックや知識を「カット」「セットアップ」「カラーリング」「シャンプー」などの実習を通じて身に付ける。						
授業計画・内容							
第1週	・美容用具の理解と基本姿勢の習得。 ・ワインディング（ブロッキング正確に取る）		第16週	・ワインディング（タイムアップを目指す。） ・バックシャンプー（トリートメント・ヘッドスパ）			
第2週	・ワインディング（上巻き・下巻き） *巻く角度を理解させる。		第17週	・オールウェーブセッティング *ピンカールとウエーブのバランスを理解させる。			
第3週	・ワインディング（センターの配列を理解させる） *ブロッキングのタイムアップ。		第18週	・カット＆ブロー（グラデーション） ・ワインディング（タイムアップを目指す。）			
第4週	・シャンプー（週2時間実施） ・ワイディング（センターを綺麗に巻く）		第19週	・オールウエーブ（スカルプチュアカール） ・シャンプー＆トリートメント（相モデル）			
第5週	・バックシャンプー（相モデル） ・ワイディング（全頭・構成を理解させる）		第20週	・カット＆ブロー（レイヤー・セიმレングス） ・ヘアカラー（ブリーチ・塗布の仕方）			
第6週	・ワインディング（全頭のタイムアップ） ・シャンプー＆トリートメント（週2時間実施）		第21週	・ヘアカラー（ダブルカラー） ・オールウエーブ（リフト・メイポール・クロッキ）			
第7週	・セットアップ（アイロン使用） *編み込みアレンジヘア		第22週	・オールウエーブ（7構成を理解させる） ・ワインディング（タイムアップを目指す。）			
第8週	・シザーの開閉（美容理論1参考） ・カット＆ブロー（ワンレングス）		第23週	・カット＆ブロー（ディスコネクション） *スタイルのバランス感を養う（錯覚現象）			
第9週	・まつ毛エクステンション（顔部の名称をウィッグで覚える） *まつ毛エクステンションの教科書参照		第24週	・オールウエーブ（復習） ・ワインディングのテスト（フォローアップ授業）			
第10週	・セットアップ（アイロン使用） *アイロンの使い方。（カールの出し方。）		第25週	・校外実習（ロールプレーン練習） *実践を想定した動線とお客様対応			
第11週	・第5章まつ毛エクステンション技術 *ウィッグを使用。復習		第26週	・オールウエーブ（復習と見極め） ・ワインディング（見極め）			
第12週	・セット・カット＆ブロー（仕上げ） *錯覚現象を理解させる。		第27週	・ヘアカラー（ウィーピング・スライシング） ・オールウエーブ（タイムアップを目指す。）			
第13週	・ワインディング（タイム30分） *見極め（放課後フォローアップ）		第28週	・ワインディング（後期試験） ・オールウエーブ（後期試験）			
第14週	・カット（レザーの使い方） *カット技法を覚える。		第29週	・カット＆ブロー・カラーリング *作品作り			
第15週	・ワインディング（30分）*前期試験 オールウエーブ（フィンガーウエーブの作り方）		第30週	・ワインディング（規定のタイムを目指す。） ・オールウエーブ *2年次に向けての調整。			
評価方法	・授業内で定期試験を実施し、授業内では実技及び衛生チェックの小テスト、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：定期試験（80％）・実技及び衛生チェックの小テスト（10％）・授業態度や出席（10％）						
教科書 教材など	・「美容技術理論1・2」 公益社団法人 日本理容美容教育センター発行 ・「美容師実技試験課題（技術の解説）」 公益社団法人 日本理容美容教育センター発行 ・プロジェクター（パワーポイント使用）						
実務経験	井上 祐樹（美容師歴：6年）・岩瀬 泰（美容師歴：23年） 高田 勝之（美容師歴：4年）・松井 隆（美容師歴15年）				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	ビジネスマナー	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	宮原香由里	学年・学期	1 年・前期	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	講義、ロールプレイ演習および授業プリントのファイリング等により、社会人の基本動作と心構えを身に付ける。社会人・接客サービススタッフとしての心構え、基本動作および敬語と接遇表現を学び、さらに後期の校外実習に実習先のサロン とのやり取りに必要な、電話対応の基本とビジネス文書の基本を学ぶ。また、任意受験ではあるが、サービス接遇検定の対策も含む接遇の基本についても取り上げる。						
到達目標	ビジネスマナーは、社会人基礎力と対人技能を身に付けることを目的とする科目である。 各種演習やワーク、ロールプレイにより、社会人・接客サービススタッフとしての心構え、文書管理のファイリング技能、基本動作および敬語と接遇表現を学び、授業外の実生活で活用し、これら技能を身に付けることを目標とする。						
第 1 週	オリエンテーション 教材配布 授業ルールと課題提出方法の説明						
第 2 週	社会人を目指す学生として 【ロールプレイ】 講師室への入退室						
第 3 週	第一印象の重要性 1 【演習】 挨拶訓練と基本動作						
第 4 週	第一印象の重要性 2 挨拶の言葉 / サービススタッフのコミュニケーション						
第 5 週	敬語の基本と接遇話法 1 敬語の働きと種類						
第 6 週	敬語の基本と接遇話法 2 敬称と接遇用語						
第 7 週	敬語の基本と接遇話法 3 接遇表現						
第 8 週	敬語の基本と接遇話法 4 総合演習						
第 9 週	電話対応の基本 1 ビジネス電話の特性と対応時の基本マナー						
第 1 0 週	電話対応の基本 2 電話話法						
第 1 1 週	電話対応の流れ						
第 1 2 週	電話応対演習【ロールプレイ】 予約を受ける / 問い合わせに答える / 取次電話						
第 1 3 週	電話応対演習【ロールプレイ】 伝言を受ける / クレーム電話 / 電話を掛ける						
第 1 4 週	ビジネス文書の基本知識 手紙の形式（横書き・縦書き） / Eメールのポイント						
第 1 5 週	ビジネス文書の演習 縦書きの手紙を書いてみる						
評価方法	①出席点（100点）…テストや必須の補習等も含めたすべての出席率が点数 ②授業点（100点）…持ち点を100点とし、課題や提出物、授業態度を減点法で採点する ③試験点（100点）…期末のテスト、中間テストや実技テスト等の合計点 ①②③の平均点を最終評価とする。 なお、講義への出席状況と授業への取り組み姿勢が評価に大きく影響するため、成績不良者に対する再試験は行わない。						
教科書 教材など	講師作成のプリントを使用する。 サービス接遇検定3～2級受験者（任意）には、対策プリントと実問題集を貸し出し自己学習できるようにする。						
実務経験	各種専門学校や一般企業、公共職業訓練等でビジネスマナー・インストラクターとしての経験あり 本年度27日目				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	ヘアカラーコーディネート	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	安井けい子、森香絵	学年・学期	1年・通年	時間数	30 時間	必須・選択	必須選択
授業概要 ・ 授業内容	主に色彩検定3級程度の理論を学び、理論を習得する実践的な実習（個人・グループワーク）を行い、五感や感性を磨き、表現力を高める授業である。色彩理論の基礎を学び、理解を深めるための実習を通じて色彩感覚を身に付け、専門分野に活用できるよう、個人実習に加えグループワークを行う。						
到達目標	社会人として、また主に接客業に従事する人間として、基本的なあいさつ、人間関係構築力やコミュニケーション力を磨き高める。色彩理論を表現する実習を通じて、色彩感覚に加え五感や感性を磨き、自己表現力を高め、自己理解や他者理解を深めることを目標としている。						
授業計画・内容							
第1週	身の回りにある色彩について、ファッションと色彩		第16週	配色理論①（色相配色）とカード実習			
第2週	グループワーク「機能的・情緒的色彩の役割り」		第17週	配色理論②（トーン配色）とカード実習			
第3週	色彩理論 「色の分類と三属性」		第18週	前回復習と小テスト・グループワーク①			
第4週	前回復習・小テスト・配色理論と実習		第19週	色彩とファッション、ファッション配色実習			
第5週	色彩理論 「有彩色の分類」と実習		第20週	色彩とインテリア、小テスト、インテリア実習			
第6週	色彩理論 「光と色、色はどうして見えるのか」		第21週	サロンのインテリア画作成実習と発表			
第7週	色彩実習 「有彩色の分類と絵の具配色実習」		第22週	ファッションとインテリア復習と小テスト			
第8週	色彩理論 「色と照明」、配色実習		第23週	色と嗅覚 「アロマセラピー理論と実習」			
第9週	総復習と小テスト・季節感と色の実習		第24週	色彩実習 「配色とスクラッチアート実習」			
第10週	色彩理論 「PCCS色相環とは」、カード実習		第25週	混色復習と小テスト、絵の具混色実習			
第11週	色彩理論 「PCCSトーンとは」、カード実習		第26週	季節感と色彩 「クリスマスカード作成」			
第12週	PCCS総復習と小テスト、配色実習		第27週	色彩心理についてグループワークと発表			
第13週	色彩理論 「混色理論と実習」		第28週	混色と配色実習「パステルアート作成」			
第14週	配色イメージと季節感、うちわ作成実習		第29週	後期試験対策①、配色実習			
第15週	前期試験対策、配色カード実習		第30週	後期試験対策②			
評価方法	試験約60%、出席率・授業態度約20%、提出物約20% *特に提出物、授業への取り組み姿勢、他者との協調性等を重視し評価する。						
教科書 教材など	検定3級テキスト、カラーカード						
実務経験	カラスクール主宰、色彩・パーソナルカラー講師25年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	美容総合研究	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	仁井名 由記	学年・学期	1 年・通年	時間数	30 時間	必須・選択	必須選択
授業概要 ・ 授業内容	・ 毛髪の基礎知識を学ぶことで毛髪診断の必要性を理解させ、髪質に合ったヘアケア剤、薬剤の選定方法に役立てる。 ・ 授業方法は講義形式を中心に授業によっては実験を交えて毛髪の理解を高めるために毛髪診断を行い、頭皮の観察、毛髪の診断を行う。						
到達目標	美容師に必要な毛髪を取り扱っていく上での知識を習得し、就職してからお客様の頭皮から毛髪についての相談に乗れるよう実践に役立てる。						
授業計画・内容							
第 1 週	物質の構成		第 1 6 週	ブリーチと毛髪損傷			
第 2 週	溶解とコロイド		第 1 7 週	ヘアダイと毛髪損傷			
第 3 週	飽和溶液と不飽和溶液		第 1 8 週	ヘアダイが染まって褪色しにくいわけ			
第 4 週	イオンと水素イオン指数		第 1 9 週	アルカリ分をほとんど含まないヘアダイ			
第 5 週	酸と塩基の定義と強弱		第 2 0 週	ヘアダイかぶれはアレルギー			
第 6 週	物質の変化と化学反応		第 2 1 週	ヘアマニキュアは酸性染料			
第 7 週	酸化・還元反応		第 2 2 週	その他染毛料のいろいろ			
第 8 週	タンパク質		第 2 3 週	毛髪とパーマ			
第 9 週	ケラチン		第 2 4 週	パーマの原理			
第 1 0 週	毛髪基礎知識①		第 2 5 週	パーマ1剤は還元剤、2剤は酸化剤			
第 1 1 週	ヘアサイクルとは？		第 2 6 週	パーマと毛髪損傷			
第 1 2 週	ケラチンは丈夫なタンパク質		第 2 7 週	ロッドとウェーブ			
第 1 3 週	毛髪はやや酸性が傷みにくい		第 2 8 週	パーマ2剤では中和しない			
第 1 4 週	毛髪とヘアカラー		第 2 9 週	毛髪診断 実習			
第 1 5 週	ブリーチの仕組み		第 3 0 週	毛髪診断 実習			
評価方法	定期試験は実施せずに、課題、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 評価目安：小テストやレポート（５０％）・授業態度や出席（５０％）						
教科書 教材など	出版社：株式会社ビービーコム 書名：毛髪科学を知る及び毛髪のひみつ 出版社：公益社団法人日本理容美容教育センター 書名：香粧品化学						
実務経験	株式会社 毛髪クリニックリープ２１ ３年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	サロンワークⅠ		学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	実技
担当教員	守谷 志妃		学年・学期	1年・通年	時間数	60時間	必須・選択	必須選択
授業概要	・美容師として仕事の幅を広げるために必要なメイク技術の理解を深めることで、ヘア＆メイクのトータルのデザインに繋げることができる基礎知識を学ぶ授業である。							
授業内容	・授業方法は主に実技形式で、実践的な相モデルで授業を実施し、また講義では基本的な道具の使用方法や持ち方などを徹底的に指導すると共に、メイクに必要な色のもつバリエーションを理解させる。							
到達目標	・一般社団法人 JMA シュウ ウエムラ メイクアップ技術検定取得に向け実践的に役立つ授業を行うことで美容師として、お客様にメイクのアドバイスをできるように指導する。							
授業計画・内容								
第1週	化粧品の定義 化粧品の位置づけ,使用する化粧品の目的及び特徴			第16週	スキンケアの相モデルでテクニックのテスト（20分）15人			
第2週	メイクアップ理論 ベーシックテクニックの重要性、プロフェッショナルにとってのメイクアップの必要性			第17週	スキンケアの相モデルでテクニックのテスト（20分）15人			
第3週	道具の準備 ハードフォーミュラ（アイブローペンシル）を削る			第18週	ベーシックメイクアップ）を相モデルで実習。 確実なテクニックの習得、時間内（30分）での仕事を意識し、完成度の高いメイクアップ技術を身につける。タイムの計測しての練習			
第4週	セルフメイクアップ,メイクアップ化粧品の使用方法を確認させ。			第19週	ベーシックメイクアップ）を相モデルで実習。 確実なテクニックの習得、時間内（30分）での仕事を意識し、完成度の高いメイクアップ技術を身につける。タイムの計測しての練習			
第5週	スタンスチェック メイクモデルの扱い方などを、相モデルで確認			第20週	ベーシックメイクアップ）を相モデルで実習。 確実なテクニックの習得、時間内（30分）での仕事を意識し、完成度の高いメイクアップ技術を身につける。タイムの計測しての練習			
第6週	ベースメイクアップ（ アンダーベース・ファンデーション・フェイスパウダー）展示および実習 ファンデーションの色選			第21週	カラーカウンセリング システムの理解とカラーベースによるコーディネート ブルーベース、)イエローベースに基づき、カラーベースを統一させたメイクアップデザインを考案する。			
第7週	ベースメイクアップの復習 スタンスやモデルの扱い方再確認理解			第22週	カラーカウンセリング システムの理解とカラーベースによるコーディネート イエローベースに基づき、カラーベースを統一させたメイクアップデザインをグループワークする。			
第8週	ベースメイクアップ復習(相モデルで実習) 手順、テクニックのポイントなどを再確認、理解させる。			第23週	カラーカウンセリングシステムに基づいたメイクアップ実習1（デザイン画に基づいたブルーベースの実習）			
第9週	ベースメイクアップ復習 リップメイクアップ展示及び実習 道具の扱い方、テクニックのポイントを確認する。			第24週	カラーカウンセリングシステムに基づいたメイクアップ実習1（デザイン画に基づいたブルーベースの実習）前回とは、違うモデルで実習			
第10週	ベースメイクアップ、リップメイクアップ復習 アイメイクアップ展示及び実習 シングルパターンテクニックのポイントを理解する。 道具の扱い方、テクニックを理解する。			第25週	カラーカウンセリングシステムに基づいたメイクアップ実習2（デザイン画に基づいたイエローベースの実習）			
第11週	ベースメイクアップ、アイメイクアップの復習、 眉のブローポーション、道具の扱い方、アイブローの描き方、手順、テクニックのポイントを確認する。ドローイングを反復練習する。			第26週	カラーカウンセリングシステムに基づいたメイクアップ実習2（デザイン画に基づいたイエローベースの実習）前回とは、違うモデルで相モデルで実習			
第12週	ベースメイクアップ、アイメイクアップ、リップメイクアップ、アイメイクアップ、アイブローメイクアップ復習 道具の扱い方、ブラシワーク、手順、テクニックのポイントを確認する。			第27週	カラーカウンセリングシステムに基づいたメイクアップ実習3（モデルに合わせたカラーコーディネートの実習）			
第13週	ベーシックメイクアップ復習（ベースメイクアップ～チークメイクアップを重視し、完成度の高いメイクアップ技術を身につける。			第28週	カラーカウンセリングシステムに基づいたメイクアップ実習3（モデルに合わせたカラーコーディネートの実習）モデルを変えての実習			
第14週	ベーシックメイクアップ）を相モデルで実習。 確実なテクニックの習得、時間内（30分）での仕事を意識し、完成度の高いメイクアップ技術を身につける。			第29週	カラーカウンセリングシステムに基づいたメイクアップ実習3（モデルに合わせたカラーコーディネートの実習）モデルを変えての実習			
第15週	ベーシックメイクアップ）を相モデルで実習。 確実なテクニックの習得、時間内（30分）での仕事を意識し、完成度の高いメイクアップ技術を身につける。反復練習			第30週	各自カラーカウンセリングに基づいたナチュラルメイクの発表・感想			
評価方法	・定期試験の実技は授業中に、学科は授業外で実施し、授業態度や出席状況及びノート提出を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：毎時間の授業態度や出席及びノート提出（10％）・授業中の技術チェック(40％)・定期試験(50%)							
教科書 教材など	一般社団法人 JMA （日本メイクアップ技術検定協会） MEKEUP TECHNIQUECERTIFICATIONEXAMINATION							
実務経験	美容師歴3年					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2023年度 授業計画（シラバス）

科目名	サロンワークⅡ	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	実技
担当教員	清水江里奈	学年・学期	1年・前期	時間数	2時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	アイリストという職業の理解を深め、まつエクの基本的な理論や安心して安全な技術を学ぶ授業である。授業は、実際にサロンワークで使用する用具を用いウィッグでの実技を中心に行う。また、講義・グループワークを行う事で知識や関心を高める。基本装着から基本のデザインまでのテクニックを身に付ける。						
到達目標	目や目元の繊細な施術である事を十分に理解した上で、接客業に必要な安心安全な技術の提供・お客様（人）に対する配慮や思いやりのある対応が出来るようにする。そしてアイリストは美容師免許が必要な職業なので、資格を生かした仕事への意識を高める事を目標とする。						
授業計画・内容							
第1週	オリエンテーション、まつ毛エクステとは何か、被害やトラブルの紹介						
第2週	地まつ毛の一般理論(毛周期)、地まつ毛診断【グループワークで行う】						
第3週	地まつ毛の一般理論（毛髪化学）、カウンセリング内容						
第4週	エクステ装着後の取り扱い注意点(アフターケア方法)、エクステに触れる						
第5週	道具の取り扱い①（ツイザー）ツイザーの持ち方、人工毛の掴み方、かき分けの仕方						
第6週	道具の取り扱い②（人工毛、グルー、グループレート）グルー適量の取り方、エクステ装着の仕方						
第7週	道具の取り扱い③（テープ）テープワークの仕方、Jカール・Cカール装着						
第8週	道具の取り扱い④（クレンジング、リムーバー）リムーブの仕方（ジェル・クリーム）						
第9週	接触皮膚炎について、エクステ装着一連の工程復習						
第10週	デザイン作成①（キューティーライン）						
第11週	デザイン作成②（セクシーライン）						
第12週	デザイン作成の復習（各自で長さ選定）						
第13週	目元のマッサージ（工程・ツボの位置・効果）【グループワーク 又は 自分の顔で行う】						
第14週	まとめ、デザイン作成復習						
第15週	まとめ、実技試験						
評価方法	定期試験を行い、実技試験は授業内で行う。筆記試験、授業時に使用するプリントの提出、授業態度、出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：実技・筆記試験(50%)、提出物(25%)、授業態度・出席(25%)						
教科書 教材など	出版社：日本理美容教育センター 書名：まつ毛エクステンション						
実務経験	アイリスト歴10年・サロン経営・(株)アイラッシュガレージ認定講師				実務経験のある教員による 授業科目		✓